

## ○背景（物流の担い手不足や物流の重要性の再認識）

- ・厳しい労働環境（手荷役等の附帯作業・長時間労働）
- ・2024年にドライバーへの罰則付き時間外労働規制適用
- ・バラ積み・バラ卸し、パレット化荷物の積み替えの発生  
→労働力不足深刻化・物流機能が維持できなくなるおそれ
- ・新型コロナ流行による物流の重要性の再確認
- ・SDGs達成に向けた機運の高まり  
→荷主・物流事業者等の関係者が連携して強力に推進する必要性

## ○パレット標準化の定義等

「標準規格のパレットを標準化された方法で運用すること（ユニットロード化・一貫パレチゼーション）を通じ、パレット化可能なすべての荷物の効率的な輸送・保管を実現する」

対象範囲：国内物流※／工場等の施設～卸売業等の物流施設等（※国際的にはエリアによって標準サイズが異なり、国際間での一貫化は課題も多いため、足元の国内課題に早急に取り組む。）

## ○関係者の責務（適切かつ公平な受益者負担）

- ◆発荷主：取引環境改善・標準パレット導入・パレット前提の営業等
- ◆着荷主：パレット納品導入やこれを前提にした発注・パレット管理等
- ◆物流事業者：情報発信・提案・適正な対価の提示等
- ◆パレットレンタル事業者・パレットメーカー：パレットの適切な利用拡大・循環システム構築に向けた取組等
- ◆行政・物流団体・経済団体等が連携、パレット標準化の必要性等発信

## ○パレット標準化の効果（今後、定量的効果の発信を目指す）

- ・労働環境改善（荷役の負担・時間軽減）
- ・物流効率化（共同輸配送の促進、DX・機械化の促進）
- ・付加価値の創出（トレーサビリティの確保等）
- ・物流機能の維持・強靱化
- ・環境負荷低減  
→パレット標準化の効果は荷主を含めた各関係者に還元される

実態把握を進め、規格・運用の標準化を検討。特に、2024年に向けバラ積み解消が急務のため、規格の議論を一部前倒し。

**これからパレット化を図る事業者推奨する規格（平面サイズ）：1100mm×1100mm(※)**

※国内で最も生産・利用（全生産数量中約32%、JISのサイズ中約66%(令和4年5月時点)）。最多規格の利用割合が増えることで、積み替え削減、積み付け・保管効率向上、機械化促進、コスト面でのスケールメリットが期待。

※業種分野の状況、商品特性等によっては、上記推奨規格の採用が困難な場合や、異なる規格の採用がより合理的な場合もある。

**<今後の検討>** パレット利用実態の把握を進め、パレット化実施済みの事業者も含めたパレット標準化に向けて、**規格（高さ・強度等）・運用（循環システム実現等）**の両面で引き続き検討。

## ◆パレット標準化に向けた段階的取組

現状Ⅰ パレットを利用していない



(標準的な規格・運用の)  
パレット利用

現状Ⅲ 企業や業種を超えた共同化、  
物流拠点におけるDX等の遅れ



ユニットロード化・  
一貫パレチゼーションの実現  
(→更なる共同化や物流拠点の  
自動化・機械化)



現状Ⅱ パレットを利用しているが  
規格や運用が標準化されていない



規格・運用の標準化

## ◆パレット分科会における検討の進め方

実態調査

規格（サイズ・仕様等）の  
標準化に向けた議論

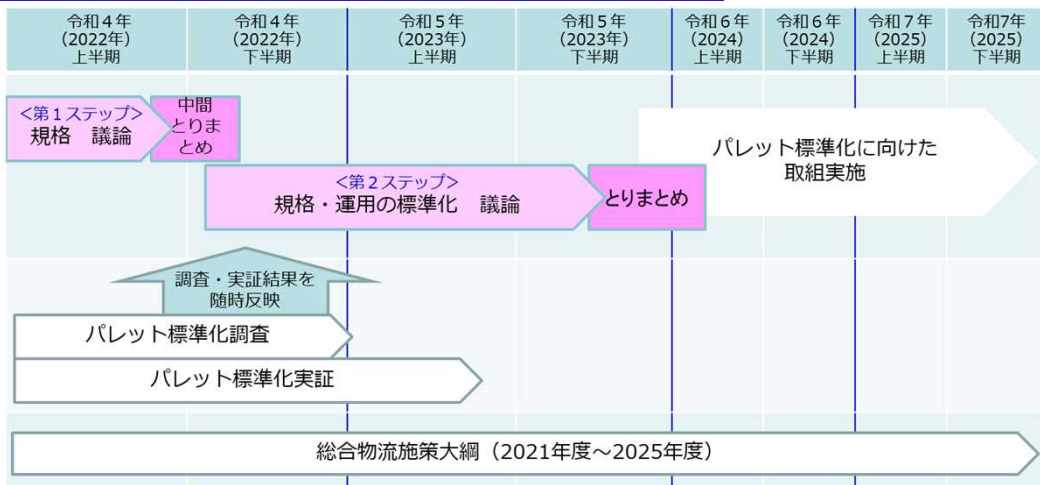
一部議論を前倒し

「パレット標準化」  
定義と方向性の確認

運用（物流・商流等）の  
標準化に向けた議論

推進方策の検討

## ◆パレット標準化推進分科会スケジュール（イメージ）



## ◆官民物流標準化懇談会 パレット標準化推進分科会 構成員

五十音順、敬称略/◎座長

- |        |  |
|--------|--|
| 伊勢川 光  | 一般社団法人日本物流団体連合会 理事・事務局長                          |
| 加納 尚美  | 一般社団法人日本パレット協会 会長                                |
| 齋藤 弘憲  | 公益社団法人経済同友会 執行役                                  |
| 重松 康夫  | 一般財団法人日本規格協会 産業基盤系規格開発ユニット長                      |
| 嶋崎 真理  | 一般社団法人日本倉庫協会 常務理事                                |
| 高岡 美佳  | 立教大学経営学部 教授                                      |
| 田中 浩一  | 株式会社日立物流 ロジスティクスソリューション開発本部<br>ロジスティクステクノロジー部 部長 |
| 成瀬 慎一郎 | 日本通運株式会社 ロジスティクスエンジニアリング戦略室長                     |
| 西井 茂   | 佐川急便株式会社 東京本社 輸送ネットワーク部 部長                       |
| 畠山 和生  | ヤマト運輸株式会社 輸送機能本部 輸送戦略企画部 部長                      |
| 藤原 敏彦  | 全国農業協同組合連合会 経営企画部 次長                             |
| 二村 真理子 | 東京女子大学現代教養学部 教授                                  |
| 北條 英   | 公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 理事<br>JILS総合研究所 所長         |
| 牧田 信良  | 公益社団法人全日本トラック協会 常任理事                             |
| ◎味水 佑毅 | 流通経済大学流通情報学部 教授                                  |
| 宮澤 伸   | 日本商工会議所 地域振興部 部長                                 |
| 室賀 利一  | 株式会社N×総合研究所 シニアコンサルタント                           |
| 脇坂 大介  | 一般社団法人日本経済団体連合会 産業政策本部 上席主幹                      |

＜行政＞

- |       |                              |
|-------|------------------------------|
| 武田 裕紀 | 農林水産省 大臣官房新事業・食品産業部 食品流通課 課長 |
| 中野 剛志 | 経済産業省 商務・サービスグループ 物流企画室 室長   |
| 平澤 崇裕 | 国土交通省 総合政策局 物流政策課 課長         |
| 日野 祥英 | 国土交通省 自動車局 貨物課 課長            |

## ◆パレット標準化推進分科会開催状況

- 第1回：令和3年9月7日
- 第2回：令和4年1月18日
- 第3回：令和4年3月1日
- 第4回：令和4年5月12日